「電源を切ってください」資料分析

【４－（１）　人間としての生き方を自覚し、義務を遂行しようとする態度を育てる。】

	〈主要場面〉	〈主人公の意識〉	〈生徒の意識〉	〈基本発問〉	〈価値との関連〉
起	母が入院をして、手術でペースメーカーを入れなければならないことを聞く	・母がいなくて寂しい ・ペースメーカーの手術をすることで元気になる ・携帯電話等が影響がある	・ペースメーカーにどんな影響があるんだろう ・お母さんが入院するなんて大変	ペースメーカーについて話を聞いたときのマリコの気持ち	
承	病院の待合室で、携帯電話で話をする高校生や、メールを打つ若い母親を見る	・なんて無神経なんだろう ・お母さんが手術をしても心配だ ・病院にはいろいろな人がいるのに	・注意したほうがよい ・電話ぐらい話をしてもいいんじゃないか	病院の待合室で、携帯電話で話をしている高校生やメールを打っている若い女性を見たときの真理子の気持ち	社会生活の秩序
転	勇気を振り絞って、高校生に注意をする	・ドキドキする ・電話をやめてくれるかな ・なんとかやめさせなければ	・勇気がある ・やめさせることはいいこと ・周りの人はどう思ったんだろう	携帯電話で話をしている高校生に、注意したときのマリコの気持ち	自らに課せられた義務を確実に果たそうとする強い意志
結	病院の張り紙が新しくなっていることに気づく	・これで少しは安心できる ・看護師さんに感謝しなければ ・勇気を持って注意をしてよかった	・安心して手術をすることができる ・注意をしてよかった	病院の張り紙がかわったのに気づいたときのマリコの気持ち	社会の秩序と規律を自ら高めていこうとする意欲を育てる